



日本生態心理学会 第7回研究大会のお知らせ 第4号通信

大会準備委員長 古山 宣洋 (早稲田大学)
大会準備副委員長 右田 正夫 (滋賀大学)
三嶋 博之 (早稲田大学)

ポスター発表 (予稿集掲載なし) を募集します!

事前予約参加申込みの〆切を2018年8月27日 (月) に延長しました。

本大会のプログラムが決定しました。

日本生態心理学会の第7回研究大会 (主催: 日本生態心理学会; 共催: 早稲田大学人間科学学術院人間総合研究センター) に関するお知らせです。以下、ご確認ください。

1. ポスター発表 (予稿集掲載なし) の募集について

ポスター・ボードに若干の余裕があります。発表題目・要旨・発表者氏名を大会準備委員会 (連絡先は下記を参照) までご連絡いただけましたら、事前予約参加申込 (後述) の〆切までに参加費を納入いただいていることを条件に、検討いたします。なお、8月31日 (金) またはポスター・ボードの空きがなくなり次第締め切らせていただきますので、お早めにご相談下さい。

2. 事前予約参加申込みについて

事前予約参加申込みの〆切を2018年8月27日 (月) に延長しました。発表される方は、今一度、連盟発表者の費用も含めてご確認ください、この〆切までに費用をお振込み下さい。また、大会・懇親会参加を予定されているその他の皆さま、学生の参加者で懇親会参加を予定されている方も、事前に費用をお支払いいただけますと、事務処理の都合上非常に助かります。ご協力をお願いいたします。

3. 重要な日程

研究発表申込締切: ~~2018年5月6日 (日) (ポスター発表のみ5月20日に延長)~~
研究発表採否通知: ~~2018年5月下旬~~
事前予約参加申込締切: ~~2018年6月30日 (土)~~
発表予稿集原稿提出締切: ~~2018年6月30日 (土)~~
事前予約参加申込〆切延長: 2018年8月27日 (月)
ポスター発表 (予稿集掲載なし) 募集〆切: 2018年8月31日 (金)

4. プログラムについて

本大会のプログラムが決定しました。本通信の2ページ以降に記載されていますので、ご確認ください。

5. 大会に関する連絡先

日本生態心理学会第7回大会準備委員会が学会の企画・運営、その他にあたっております。連絡は下記までお願いいたします。

日本生態心理学会第7回大会準備委員会

Email: jsep2018@jsep-home.jp

日本生態心理学会第7回大会プログラム

主催：日本生態心理学会

共催：早稲田大学人間科学学術院 人間総合研究センター

日時：2018年9月8日（土）9:00～9日（日）16:15

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 7号館（大隈重信翁銅像前） 2階205・207教室

大会準備委員会：古山宣洋（早稲田大学）・右田正夫（滋賀大学）・三嶋博之（早稲田大学）

2018年9月8日（土）

09:00-09:30 開場・受付

09:30-09:35 開会の挨拶（三嶋博之・JSEP代表）

09:35-09:45 事務連絡（古山宣洋・第7回大会準備委員会委員長）

09:45-11:15 シンポジウム1（会員企画）

リハビリテーションから見た生態心理学

企画者：樋口貴広（首都大学東京人間健康科学研究科）

脳卒中患者の隙間通過行動

室井大佑（亀田リハビリテーション病院）

リハビリテーション専門職によるハンドリング技術の分析：再帰性定量化解析を利用した「協応する身体」の解析の試み

宮本一巧（地域医療機構りつりん病院）

脳卒中患者の上肢操作におけるマイクロスリップ計測：行為の質を生態心理学的側面から視る

中原亜美（藤田保健衛生大学七栗記念病院）

11:15-11:30 一休憩&総会準備一

11:30-12:30 日本生態心理学会総会・ランチ

12:30-14:00 オープンフォーラム1

ろくろ挽きによる作品制作過程の道具環境の相違—3名の作家の比較から

山本尚樹（立教大学現代心理学部）

臨書の研究—書道熟達者の視線探索

野澤 光（東京大学大学院学際情報学府）

リズムカルな対人協調における視覚的結合

三浦哲都（東京大学大学院総合文化研究科）

紅林亘（滋賀大学データサイエンス教育研究センター）

岡野真裕（立命館グローバル・イノベーション研究機構）

山本裕二（名古屋大学総合保健体育科学センター）

Ludovic Marin（モンペリエ大学）

Benoit G. Bardy（モンペリエ大学）

14:00-14:15 一休憩・ポスター発表準備一

14:15-15:15 ポスター発表

身体傾向性の変化が無意識的な反応に与える影響

青木敏晃（舞鶴赤十字病院）

寝る動作における生態学的測定法に関する検討

真下英明（舞鶴赤十字病院）

ヒトでの起き上がり行動における基質の肌理の影響

右田 正夫（滋賀大学教育学部）

アフォーダンス知覚を促すデザインとしての言語—生態学的言語論の理論的考察—

井上拓也（京都大学人間・環境学研究科）

二者間の身体接触が立位動揺に与える影響

井川大樹 (東京大学大学院総合文化研究科)
三浦哲都 (東京大学大学院総合文化研究科)
工藤和俊 (東京大学大学院情報学環)

リズム音と運動の周期の非対称性が引き込みの安定性に与える影響

田野崎はるか (東京大学大学院総合文化研究科)
三浦哲都 (東京大学大学院総合文化研究科)
東野美夢 (東京大学大学院学際情報学府)
向井香瑛 (東京大学大学院総合文化研究科)
恵谷隆英 (東京大学大学院総合文化研究科)
工藤和俊 (東京大学大学院情報学環)

15:15-15:30

—休憩—

15:30-16:30

オープンフォーラム2

批判的常識主義を媒介とした直接知覚と間接知覚の統合—生態学的知覚論をめざして—
佐古仁志 (立教大学)

画像的再現をめぐるギブソンとグッドマンの論争

豊泉俊大 (大阪大学大学院)

16:30-16:45

—休憩—

16:45-18:15

シンポジウム2 (会員企画) :

「空間・知覚・行為」—私たちは空間をどのように知覚し、その空間の中でどのような行為をするのか—

企画者: 友野貴之 (早稲田大学大学院人間科学研究科)

ダイナミックタッチに基づく身体拡張性の知覚: 手と頭における空間知覚の違いに着目して

渡邊諒 (首都大学東京大学院人間健康科学研究科)

人はいかにして、人と人を通り抜けるのか?

友野貴之 (早稲田大学大学院人間科学研究科)

空間における身体の位置と相互行為

牧野遼作 (早稲田大学人間科学学術院)

断面的な観点から捉えた子どもの行動と空間認知

稲葉直樹 (早稲田大学大学院人間科学研究科)

18:30-20:30

懇親会

場所: 大隈会館 N201・N202 会議室

料理: 大隈会館特別パーティプラン by リーガロイヤルホテル東京

2018年9月9日(日)

- 09:00-10:00 オープンフォーラム3
瞬発的運動のジレンマ—雪上での木遣りの事例分析から—
高梨克也(京都大学大学院情報学研究科)
- 母子の抱きにおける生態心理学的研究—道具とコミュニケーションに着目して—
園田正世(東京大学大学院学際情報学府)
- 10:00-10:15 —休憩—
- 10:15-11:45 オープンフォーラム4
乳幼児の生活環境と姿勢に関する縦断的観察
山崎寛恵(お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所)
- 片付けの始まり—独立歩行期の乳児による物の運搬と協同的配置替え—
西尾千尋(東京大学大学院学際情報学府)
工藤和俊(東京大学大学院情報学環)
- 「環境を通じた教育」とは何か—保育環境における認識と行動の発達を支えるアフォーダンスとその効果
細田直哉(聖隷クリストファー大学)
- 11:45-12:45 —ランチ—
- 12:45-14:15 オープンフォーラム5
食事マナーに対する動作の流暢性からのアプローチ
廣瀬直哉(京都ノートルダム女子大学)
- 拳によるすき間の通過可否判断は可能か—知覚とボディイメージにより構築される上肢機能—
森野花梨(舞鶴赤十字病院)
真下英明(舞鶴赤十字病院)
友野貴之(早稲田大学)
- 影から得られる情報—距離の知覚—
松田紘太郎(東京理科大学)
吉澤望(東京理科大学)
柴田崇(北海学園大学)
- 14:15-14:30 —休憩—
- 14:30-16:00 シンポジウム3(大会準備委員会企画)
素材の心理学—心理学の新たなニッチを探る—
企画者: 右田正夫
- 石の加工における運動の調整
野中哲士(神戸大学)
- アーティストが見る物の心
齋藤帆奈(早稲田大学)
- 素材がはらむ隠れた活動体としての心
森山徹(信州大学)
- 16:00-16:15 閉会